



# 姥神大神宮渡御祭

～江差の歴史を伝える絢爛豪華な祭り～



姥神大神宮渡御祭は、神輿渡御の際に、町内の山車（ヤマ）が供奉（お供）し、豊作・豊漁・無病息災を祈念して絢爛豪華に山車が巡行する祭である。その起源はおよそ370年前の江戸時代初期であり今日まで引き継がれてきた。現在は毎年8月9日から11日の3日間にわたり行われる。神輿に供奉する山車は13台あり、各町内が個々に保存継承している。宵宮祭では各町内が山車に魂入れを行なう。その後、下町と上町の巡行により神輿渡御に供奉する。この行事は京都祇園の系統を引くもので、この期間は江差町全体が躍動する一時である。